

岐大通2014

2014 J.League Division2

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

3/2号

第1節 カマタマーレ讃岐 戦

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：

ささたく&吉田鑄造

today's guest : カマタマーレ讃岐 2013 JFL 21勝5分8敗 勝ち点68: 第2位

1956年に結成された「高商OBクラブ」が母体。その後、香川紫雲クラブ、サンライフFC、高松FCと名前の変遷を経て、2006年度より現名称に。2010年に四国リーグ、全国社会人、地域決勝のすべてを制する『地域3冠』を達成してJFL昇格の承認を受ける(この年の敗戦は天皇杯でのJ1大宮戦だけだった)。2012年の天皇杯ではJ1の鳥栖に勝利。2013年のJFLで2位となり、優勝した長野がJ2ライセンスを持たないため、讃岐がJ2最下位の鳥取と「J2参戦」の入替戦に参戦、1勝1分で鳥取を破り今季よりJ2。FC岐阜とは、過去1度公式戦の対戦あり(地域決勝・1次ラウンド@高知春野。岐阜2-0讃岐)。(吉田鑄造)

●昨年末に、クラブ経営が急展開を見せた我らがFC岐阜。大規模スポンサーの獲得や地元財界の支援も受けられ、これまで苦しんできた債務超過解消の目処も立った。そして同時に大幅補強もされたが、なんと言ってもその目玉はラモス瑠偉監督だ。その他にも#22川口能活をはじめ、多くの有力選手を揃え、知名度も抜群、露出度も急上昇した。これだけ各種メディアに「FC岐阜」の文字が躍るのは、クラブ始めて以来の出来事だ。これまで、J昇格後は常に下位、ここ3年間に至っては最下位争いをしてきたチームを見てきたサポーターにとっては、信じられないような変化だろう(正直、僕も未だに少し戸惑っている(苦笑))。つつい今シーズンは期待ばかり先行してしまうが、しかし、まだ結果が出ている訳ではない。やっと開幕戦、ここから勝負のはじまりだ。気持ちを引き締めて試合に臨まなくてはならない。さて、その開幕戦の対戦相手はカマタマーレ讃岐。昨シーズンはJFL2位となり、入れ替え戦でガイナレ鳥取を下してJ2昇格を勝ち取ったチームだ。当然ながら下馬評では降格(※今年からはJ3への降格)候補の最有力だが、当然ながら大幅に選手を補強しているため、その戦力は未知数だ。彼らはチーム初の「J開幕戦」に気合いが入っているだろうし、我々は08年の自分たちの「J開幕戦」で、(07年はJ1だった)甲府相手に1-1の結果を残したことを忘れてはいけない。お互いの内が判らない開幕戦であるが故に、全く油断できる相手ではないのだ。

讃岐は元日本代表の#9我那覇和樹と#33木島良輔のベテラン2TOPが予想されるが、開幕戦で動きの堅いDF陣の隙を確実に狙ってくるだろう。また、今シーズンから地元・讃岐に凱旋した#10高木和正は、FC岐阜に06年・東海1部L時代に加入してJ昇格にも貢献し、09年までの4年間所属していた選手だ。当時を知る岐阜の選手は#4田中秀人と#17野垣内俊しか残っていない(なお昨年は#11三都主選手と栃木で一緒だった)が、同僚対決は激しく見応えのあるものになるだろう。さて、我らがFC岐阜の選手たちは…と、例年ならば直前のトレーニングマッチの結果などから何となくスタメンの想像がつくのだが、今年は(監督の意向もあって?)あまり情報が公表されていないので、ほとんど判らない(苦笑)。どうやらトレーニングマッチでは名古屋に1-0で勝利したということだが…。逆に言えば、どの選手が出てきてもワクワクできる。開幕スタメンを勝ち取った選手たちの活躍と、幸先の良いスタートに是非とも期待したい。ラモス監督は「攻守の素早い切り替え」「90分間走りきる」「勝利への執念」などをチームのコンセプトに掲げており、それらを選抜選手たちがピッチで表現できれば、結果はついてくるはずだ。

またラモス監督は、僕らサポーターに対して「我々には、あなたたちの力が必要」「開幕戦は、相手をビビらせるぐらいの熱い応援を」と期待を寄せてくれた。これに応える熱い拍手と声援で選手の後押しをするのも、僕らの役目だ。一方、これだけチームが注目されているため、多くの方々がスタジアムに詰めかけることだろう。クラブも僕らも、今シーズンは未知数の体験となるだろう。僕らが少しずつ意識して行動して、より快適なスタジアム・より魅力のあるクラブにすることを試行錯誤するシーズンでもあるだろう。

大幅な選手補強は実現したが、まだまだFC岐阜には足りないものが多い(クラブハウスなどがその一例だ)。これらは一朝一夕には実現しないが、しかし結果を出していくことで少しずつ道程は近づくだろう。そのためにも、選手たちには是非とも結果を出して欲しい。そして「最後にみんなで肩を組んで笑う」ために、この開幕戦は勝つしかない。

さあ、長くて激しい、そしてワクワクする2014年シーズンの開幕だ。(ささたく)

2014J2

■2013シーズンの対戦成績(リーグ戦)■

湘南 (J1より降格)
磐田 (J1より降格)
大分 (J1より降格)

京都	0勝0分2敗	得点0	失点5
千葉	0勝1分1敗	得点1	失点2
長崎	1勝0分1敗	得点2	失点4
松本	1勝0分1敗	得点3	失点3
札幌	0勝0分2敗	得点0	失点7
栃木	0勝0分2敗	得点0	失点3
山形	0勝2分0敗	得点3	失点3
横浜FC	0勝1分1敗	得点2	失点4
岡山	1勝1分0敗	得点2	失点1
東京V	0勝0分2敗	得点1	失点5
福岡	0勝0分2敗	得点1	失点4
水戸	0勝0分2敗	得点2	失点8
北九州	1勝0分1敗	得点3	失点3
愛媛	0勝2分0敗	得点1	失点1
富山	1勝0分1敗	得点4	失点4
熊本	0勝2分0敗	得点1	失点1
群馬	1勝1分0敗	得点1	失点0
岐阜			
讃岐	(JFLより昇格加盟)		

■編集子より■

今シーズンも『岐大通』はホーム戦発行皆勤を目指してがんばります。よろしくお願致します。(編集担当:吉田鑄造)



本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

次回HomeGame

第2節 カターレ富山戦
3/9(日) 16:00
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

開幕を前に。

●いよいよ2014シーズンが始まる。毎年恒例ではあるが、今季も大きく陣容が入れ替わった。だが、今季のそれはここ数年とは明らかに違う感慨がある。あえて言えば、Jリーグへ参入した2008シーズンと似ているかもしれない。いささか乱暴に言えば「根拠のない期待」。キツイ言い方かもしれないが一つの「戒め」だと思っている。正直に言えば、今までこのクラブとつきあってきて一度も経験したことのないマスコミでの取り上げられ方や地元のスポンサーからの協賛、さらに周囲の人達の日常会話にFC岐阜の話題が出てくるという雰囲気にとまどっている部分もある。いい意味で、その流れ、雰囲気をブチ壊すようなエンターテインメントの提供を期待している。選手はもちろん、フロントにも一層の飛躍を。そういう思いから苦言というかお願いを一つ。「どうか、来季は今まで同様プレシーズンマッチを開催してください。」

せっかく、新しいお客さんを開拓するチャンスだったのに、それを生かさずなのはもったいなさすぎる。主催試合が増えれば収入も増えるし、運営や応援のいいリハーサルになるじゃないですか。いろんな事情があったのだろうとは思いますが、非公開のトレーニングマッチで終了では寂しすぎます。開幕前からクラブもリーグも盛り上げていけるよう『共進、共闘!』していきましょう!

そして、どうしても気になってしまうのが新指揮官。ラモス瑠偉。彼のプレーを見たことのある者として、またその言動を見聞きしてきた者として、その指導ぶりに興味をそそられずにはられない。もちろん、FC岐阜が初めての監督というワケではない。かつて、東京Vで、さらにビーチサッカー日本代表の監督も経験している。すでに実績を残している彼がわざわざこの岐阜に来てくれた。東京Vを始めとした他のクラブよりもいろんな面で遅れているこのクラブに、いったいどんな変化をもたらしてくれるのだろうか。そして、彼自身はどう変わったのか。東京Vの監督を退いてから7年。その歳月の間に、彼はどんな経験を積んできたのか。『三日会わざれば括目して見よ』という故事成語もある。彼の指揮は? 戦術、戦略は? どういうサッカーを長良川のピッチにデザインしてくれるのか? 一刻も早くこの目で確認したい。

とはいえ、サッカーは、というかサッカーも選手がやるもの。おそらく、今季もワクワクしながらハラハラドキドキの場面が多いに違いない。それでも、その一喜一憂すべてが楽しい。地元でプロのクラブがあり、久しぶりに会う仲間、この場所だけで会う仲間と喜びを分かち合う。それぞれを繋げてくれるのは『FC岐阜』という存在。いつまでも、そういう存在であり続けてくれること。ゼイタクをいえば、勝利の『バンザイ四唱』を今季はたくさん味あわせてほしいな。

でも、心のどこかでは「残留してくれればイイ。」とってないこともない。うわっ、全然期待してねえ……(笑)。(ぐん)

●もうずいぶんと昔の話のような気もしてしまうが、FC岐阜が存続問題で地元財界と協議をしたのが今年の年末ギリギリ、つまり2ヶ月ちょっとしか前の話。それからの展開、新監督と新規加入選手の面々、新たなスポンサー。『エヴァンゲリオン』のセリフをそのまま借りれば「こうい

るとき、どんな顔すればいいかわからないの。」って感じになってしまう。皮肉でもなんでもなく、ここ数年のFC岐阜にとって『赤貧』は一種の「クラブカラー」だった。シーズン中、絶えず聞こえてくる資金不足の噂。“華のある”選手の獲得がなくなって久しく、成績面でも厳しい状況で圧倒的な弱さで最下位に沈んだシーズンもある。J2からの降格制度が始まってからは2年連続して「首の皮1枚」での残留。でも、

そんな環境でもぼくら岐阜サポは「この状況でも俺達は戦えるんだ!」と応援をしてきた。

だから、今回の補強、「当社比」と入れなくても通じるくらい大型補強のメンバーを見て「この陣容なら勝てる! もっと上に行ける!」と期待するのは当然だけど、今季はプレシーズンマッチがなかったこともあって、実はぼくらはまだ何も視ていない。We ain't seen nothing yet. そりゃラモス監督の手腕には期待しているし、獲得した新加入選手が『実績』に相応しいパフォーマンスを見せてくれれば、昨季やその前のような「首の皮1枚」みたいなことにはならないだろう、と思いたいんだけど、でも、それってこれまでのシーズンで対戦相手の選手の持つ『実績』を前に「この相手でも俺達は戦えるんだ!」と応援してきた過去の自分達の“自己否定”になってしまうような気もするのだ。敗北主義が染み付いてしまったのかも。

プロのサッカークラブだから、当然ながら試合に「興行」的側面がある。つまり、お金を払ってくれる観客やスポンサーに『満足』を提供しなければならない。もちろん、その満足とは「試合に勝つ」こと以外にもあるのだけど、一言で表すなら『ワクワク』を売るのがプロのクラブ。これまでのFC岐阜が売っていたのは、どちらかと言うと『ワクワク』ではなく『ヒヤヒヤ』だった。ようやく『ワクワク』を売り物に出来る体制になった、とは思う。だから、浮わつくことなく「期待」したい。上で引用した英語、We ain't ~ は、世界初のトーキー映画『ジャズシンガー』の冒頭に出てくる、いわば世界初の「映画のセリフ」、You ain't heard nothing yet から。直訳すれば「あなた方はまだ何も聴いていない」となる英語のセリフには、日本公開時にはこんな字幕が当てられた、という。『お楽しみはこれからだ』。(吉田 Casting)

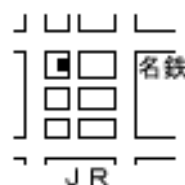
【ユース】 今年もよろしくお祈いします

●我らがFC岐阜ユースU-18 (以下FC岐阜ユース) は2013年シーズンは岐阜県の高校サッカー世代のトップリーグであるG1リーグで戦い、5勝1分8敗の勝点16で8チーム中6位という成績で終わりました。この結果多分2014年もG1リーグに参加する事と思われます。(←県協会の公式サイトがシーズン結果を総括してくれないので、よく分かりません。苦笑)

県協会様におかれましては「早めに」「正確な」情報のアップをお願いします(少し毒)。

そして4月中旬になると例年であればクラブユース選手権の予選も始まります。昨年も東海地区の予選1次リーグを突破しましたが、決勝リーグに進む事は出来ませんでした。今年はどこまでチャレンジ出来るのか、楽しみにしています。

このように今年もこの岐大通でFC岐阜ユースの情報を伝えていきたいと思っていますので、宜しくお祈いします。頑張れよ、応援しているからな! FORZA! FC岐阜ユース!! (シュナ)



「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜(定休日が変わりました!)